

図書館だより

発行 多可町図書館

〒679-1133

多可郡多可町中区靴屋 434-11

TEL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

http://www.library.taka.hyogo.jp/

かつて、皇后さまがインドにおける国際児童図書評議会の開催にあたり、〈子供時代の読書の思い出〉というテーマで長文の御文を託されました。その中に、「父がくれた神話伝説の本は：：私に一つの根つこのようなものを与え：：時にどこにでも飛んでいける翼を与えてくれる」という文章があります。そして忘れられない一つの神話として、弟橘比売命が海神の怒りを鎮めるために入水した神話と、「さねさし相武の小野に燃ゆる火の火中に立ち

て問ひし君はも」の恋歌を載せられています。さねさしの歌はわたしの大好きな詩の一つで感動を覚えながら読ませていただきました。さて、文学好きな私を育ててくれた「根っこ」は何だったろうか。昭和十三、十四年、私がちょうど十歳前後のころ、その頃は殆どの家庭にはラジオもなかった時代でした。ある秋の夜長に裸電灯の下で、父が家族を集めて、『ロメオとジュリエット』を読んでくれました。楽しくて楽しくて明くる日が待ち遠しいくらいでした。あの最終のクライマックスシーンは今でも覚えています。父が読んでくれたの

は『村子春』とか『蜘蛛の糸』くらいしか覚えておりませんが、どうやら視線はこの私にあてられていたように感じています。僅か十三歳の私を残して父は急逝してしまいました。父の愛の享受はあまりにも短すぎましたが、あの夜の読み聞かせは、私にしっかりと根つこを与えてくれました。そして、どこへでも飛んでいける翼は、その後文学を味わうキッカケともなりました。私は文学を志してよかったと思っています。いまでも、たくさんの愛唱詩歌があつて散歩の途中など、つい口ずさむ今日このごろです。

「文学と私」 中区 川口昭三



Bookガイド

あんな本 こんな本

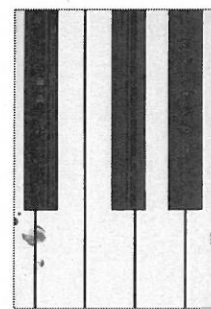
【一般書】

『シューマンの指』

奥泉光／著

講談社

(Fオク)



シューマンに惹かれた天才美少年ピアニストの永嶺修人が通う高校で、女子生徒が殺害されるという事件が起こります。現場に居合わせた修人は、その後ピアニストとしては致命的なケガを負います。そして二つの事件は未解決のまま30年の歳月が流れます。そんなある日、修人が外国でシューマンを弾いているという噂が伝わってきて…。未解決殺人事件、シューマンの楽曲の謎、その裏に秘められた真実とは？シューマンの音楽論とミステリーの展開が気になります。(ふ)

【一般書】

『うーらの おうちカレー 77変化』

庄司智子／著

世界文化社

(596.3シ)



多くのご家庭でおなじみのカレー、たくさん残って「またカレー!」というご経験の方もあって…。そんな方のために画期的な本が出ました。残ったカレーが大変身!まずは基本のポーク(ビーフでないところが関東です)、チキン、キーマカレーの作り方が紹介されています。そして、それぞれのカレーが肉じゃが、茶碗蒸し、焼きおにぎり、パンケーキなど、様々な料理に変身します。「あえて多めに作って、1週間くらいアレンジメニューで晩ごはんを過ごしても絶対に飽きない」と、著者もご自慢のレシピブックです。(み)

【児童書】

『シチリアを征服した クマ王国の物語』

グッツァーティ／作

福音館書店

(K973フ)



幼い子グマの王子トニオが二人の猟師に襲われ、平地へ連れ去られてしまつてからというもの、クマの王様レオンツィオは毎日悲しみにくれるのでした。そして歳月は流れ、今までとは比べものにならないほどの厳しいある冬のこと。クマたちのすむ奥深い山々に食べ物がすっかりなくなつてしまいました。飢えに悩まされ、たまりかねたクマたちは食べ物を求め、人間に戦いをいどもうと平地をめざします。さて王様レオンツィオは、その平地にて、かつてさらわれた息子トニオと再び巡り会うことができるのでしょうか?(た)



ふくちゃんのウインク

図書館が開館して、10回目の春がやってきました。

さて、3月頃に「本のリサイクル広場はいつか?」というお問い合わせをたくさんいただきました。

今年度は6月中旬に図書館まつりを開催予定です。その際には、リサイクル広場はもちろんのこと、楽しいイベントを企画しておりますので、ぜひ、図書館へお越しください。(け)

H24年度利用状況(3月12日現在)

蔵書冊数: 137,609冊

多可: 105,024冊(一般書: 74,895冊 児童書: 27,908冊)

加美: 17,536冊(一般書: 9,059冊 児童書: 8,244冊)

八千代: 15,049冊(一般書: 8,774冊 児童書: 6,000冊)

総貸出数: 165,949冊

多可: 125,395冊(一般書: 67,456冊 児童書: 50,115冊)

加美: 22,234冊(一般書: 9,034冊 児童書: 12,995冊)

八千代: 18,320冊(一般書: 5,270冊 児童書: 12,794冊)

各館の図書配送冊数(取り寄せ・返却本等)

多→加: 5,178冊 多→八: 4,388冊 加→多: 7,297冊

加→八: 633冊 八→多: 6,367冊 八→加: 691冊

【こたえ】Ⅰ…③ Ⅱ…① Ⅲ…② Ⅳ…③ Ⅴ…①
「豆知識」新美南吉は宮沢賢治と対比されて「北の賢治、南の南吉」と称されているそうです。



◆かるた会(1月12日) 百人一首・いろはかるた



毎年、小学生以下を対象に開催しているかるた会。今年は「いろはかるた」だけでなく、小学4年生から6年生を対象にした「百人一首」も開催しました。これは、毎年、「百人一首はないの?」という利用者からの声に応えたものです。



まずは肩慣らしということで、約15分間、予行練習をした後、各グループに分かれて試合開始。上の句を読んだだけで札をとるという、大人顔負けの白熱した試合が繰り広げられました。来年も引き続き開催できればと思います。

◆図書館見学 その① (1月30日)

松井小学校の2年生が図書館見学に来てくれました。おはなし会の後は、質問の時間。「本は何冊あるの?」「人気がある本は?」「一日にどのくらいの人



が利用するの?」など、さまざまな質問が飛び出し、聞き取ったことをメモしていました。その後、館内へ移動。それぞれ、お気に入りの本を見つけて借りていました。



◆図書館見学 その② (1月31日)

みどり保育所4歳児のみんなが、元氣いっぱい図書館を訪ねてくれました。絵本の読み聞かせなどを聞いた後、それぞれ2冊ずつ本を選んで借りて帰りました。



また、おうちの人も図書館に来てくださ

◆図書館見学 その③ (2月14日)

中町南小学校の4年生10名が、福祉施設見学の 일환として、図書館に来てくれました。「点字の本は何冊ありますか?」「図書館の施設として工夫している点は何?」など、各自が考えてきたことを質問しました。その後、館内を実際に見学。点字図書に触れたり、読書拡大器、点字ブロック、大活字本など、様々なことに興味を持ちながら回っていました。

◆八千代交流広場 多世代交流イベント

ひなまつり(3月2日)



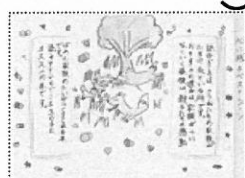
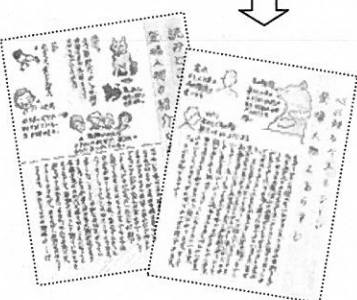
八千代コミュニティプラザで開催された交流イベントに、図書館も参加しました。今回はフラワーペーパーを使った「おひな様を作ろう」を開催。好きな色のペーパーを組み合わせておひな様を作っていました。子ども達は、薄いペーパーを破らないように、優しい手つきで慎重に広げていました。側で見守っていた保護者の方も、途中から参加され、和やかな雰囲気で作業は進み、中には、子どもより大人の方が夢中になっている場面も...



できあがったおひな様をひな壇に並べると、どのおひな様も表情豊かで、中には雰囲気自分とそっくり?という作品も。華やかで、春の訪れを感じる事ができたひと時となりました。

◆おすすめカード(2月下旬~3月10日)

中町南小学校の5年生が樟鳩十の本を読んだおすすめカードを作りました。A3サイズの紙を少しずらして四つ折りにし、それを左図のように開いていくと、物語のあらすじ、読みどころ、心に残ったシーンなど、わかりやすくイラストと共に紹介してあります。このカードを見ると、ぜひ本を読みたいと思う力作ばかりでした。



ふくちゃんのこと 葉の言の便り

郷愁が漂う 南の童話作家

~ 生誕100年を迎える新美南吉 編 ~

「ずっと前に作った創作童話『巨男の話』を子どもにしてやった。ひそひそと泣く子があった。私はうれしくなった。私の頭が作りあげた話が、子どもの美しい涙に癒されるのが。」と新美南吉さんは、昭和6年4月の日記に書いています。

日記が書かれた年は、母校の半田小学校に代用教員として勤め始めた18歳の時ですが、この『巨男の話』は16歳の時に、魔法にかけられた

王女を救うために、大男が最後の方法として自らの命を捧げる悲哀に満ちた物語として描いた作品です。

また、この年の10月には翌年の「赤い鳥」1月号に掲載された、代表作『ごん狐』を書き上げています。『ごん狐』は昭和31年に小学校4年生向けの教科書に登場し、昭和55年になるとすべての国語教科書に載るようになり、誰もが習う童話となりました。

ぼくは井戸である。
ぼくをとおして 水は浄化され
ふきだす。

~ 昭和17年4月9日 日記より ~



今年生誕100年を迎える新美南吉さんは、29歳の短い生涯の中で123編の童話の他に、小説・童謡・俳句など多彩な作品を創りあげています。それらの作品は、生まれ育った愛知県知多半島の風土を背景とし、哀しみ・せつなさの中にも、温かな思いやりがあふれ、古くから日本人が持ち続けてきた感情に寄り添って描かれています。死後70年が経つ現在も多くの人に読み継がれています。

新美南吉さんに関するクイズです。《こたえは最後のページに》

- I. 『ごん狐』で、ごんが首に巻き付け持って帰ったのは
① マフラー ② ドジョウ ③ うなぎ ④ あら縄
- II. 国語の教科書に最初に採用された作品は
① 『おじいさんのランプ』 ② 『てぶくろを買いに』
③ 『ごん狐』 ④ 『でんでんむしのかなしみ』
- III. 東京外国語大学卒業後の就職先は
① 東京飼料販売社 ② 東京土産品協会
③ 東京貿易仲介所 ④ 東京帽子製造組合
- IV. 新美南吉の他にペンネームとして使ったのは
① 権現山南吉 ② 半田兵十 ③ 古美北吉 ④ 渡辺正八
- V. 童謡の手ほどきをうけた作家は
① 北原白秋 ② 三木露風 ③ 野口雨情 ④ 西條八十

図書館だより

発行 多可町図書館

〒679-1133

多可郡多可町中区糺屋 434-11

TBL 0795(32)5170

FAX 0795(32)5171

<http://www.library.taka.hyogo.jp/>

六月十五日は図書館まつりでした。この日の水無月落語会で落語を演らせていただきました。雨の中、たくさんの方に観に来ていただきました。改めてお礼申しあげます。私自身は落語の途中つかえたところがあつて、まだまだ、稽古が足りないかと反省しているところです。

さて、私は落語のマクラに都々逸を引用することがあります。都々逸という文字はよく目にするけれど、どんなものかは然とはわからない。そういう方が多いと思います。それが図書館の

「図書館にある本・ない本」 中村町 上原敏伸

蔵書にも表れています。川柳の本はたくさんありますが、都々逸の本は本当に少ないのです。図書館を責めているわけではありません。都々逸の知名度の問題です。また、あつたとしても読む価値のある本は少ないのではないかと思います。幸い、私は都々逸づくりのバイブルのように思っている本を一冊持っています。これとて、四十年ほど前に、たまたま買っていた本です。都々逸が文芸としての枠から未だはずれているということなのでしょう。私自身は七・七・七・五でつくる定型詩だと思ふのですが、それでも、図書館で借りた都々逸の本で(読み込み)の

つくり方を知りました。この方法を活用することがあつて役に立っています。図書館には無くて家にはあるという本をお持ちの方、必ずおられると思いますが、その逆もあるわけで九十歳近い母が利用しています。大活字本です。楽しみにしています。

さて、私の一日は森村誠一氏の推理小説か、佐伯泰英氏の時代小説のページを繰ることで終わります。読む本の傾向こそ違え、家内も同様の一日の締めくくりです。期間中に読み終わらないことがよくありますが、予約が入っていないければ延長してもらえるのでありがたいです。



Bookガイド

あんな本...こんな本

【一般書】

『のぼうの城』

和田 竜/著
小学館
(Pワタ)

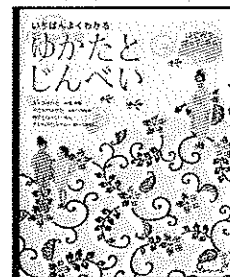


「戦いまする。」「のぼう様が戦するってえならよう。助けてやんなきゃあんめいよ。」二万数千の石田三成の兵に囲まれた小田原城の枝城である忍(おし)城の城主、成田長親(ながちか)の言葉に領民は惜しみなく、兵に加わった。忍城側の軍勢は領民も含めわずか三千名で、形勢は圧倒的に不利であったが、兵の士気の高さと三成軍の奢りもあって緒戦に勝利を収める。日本三大水攻めに数えられる七里に及ぶ石田堤の水攻めに、領民の命運を掛けてのぼう様がたった一人、奇策で立ち向かう。歴史小説は苦手という方にも一読の価値ありの一冊です。(と)

【一般書】

『いちばんよくわかる ゆかたとじんべい』

日本ヴォーグ社
(593.1イ)

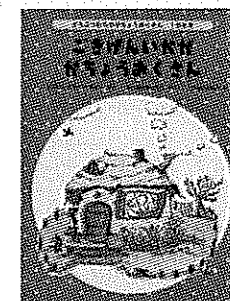


昔は、ゆかたやじんべいを家で縫うのは当たり前のことでしたが、最近では近くのお店で手軽に購入できるようになり、わざわざ縫ってこしらえるという人は少なくなってきています。また、若い年代の人の中には、難しいと思い込んでいる人も多いかもしれません。この本では、ミシンと手縫いを組み合わせて気軽に挑戦できる縫い方が紹介されています。お祭りや花火大会のお出かけ着として、今年はぜひ、お気に入りの布で縫ってみられてはいかがでしょうか。着付けの方法や帯の結び方も写真入りでわかりやすく紹介されていますよ。(な)

【児童書】

『ごきげんいかが がちょうおくさん』

ミリアム・ポター/作
福音館書店
(K933ホ)



動物村のがちょうおくさんは、ちょっととぼけたひと。例えば、自転車旅行の計画を立てたところが、気になることがあつて肝心の自転車を忘れていたりします。がちょうおくさんをよく知る黒猫さんは、計画を聞いて「それって、どこか問題があるよ。まあ、見てごらん。なにしろ、それを考えたのは、がちょうおくさんだからね」と言います。でも、屋根の上でお昼ご飯を食べるがちょうおくさんにつられ、りすおくさんや黒猫さんまで屋根に登ってしまいます。なんだか憎めないがちょうおくさんの、ご機嫌で愉快なおはなしです。(み)

今年の課題図書です



〈小学校低学年〉

『メガネをかけたら』 くすのきしげのり/作
『なみだひっこんでろ』 岩瀬成子/作
『わたしのいちばん あのこのいちばん』 ウォルチ/作
『いっしょだよ』 小寺卓夫/写真・文

〈小学校中学年〉

『くりいむパン』 濱野京子/作
『ジャコのお菓子な学校』 オスファテール/作
『こおり』 前野紀一/文
『ゾウの森とポテトチップス』 横塚真己人/写真・文

【こたえ】 I...② II...①
III...① IV...③

〈小学校高学年〉

『オムレツ屋へようこそ!』 西村友里/作
『有松の庄九郎』 中川なをみ/作
『はるかなるアフガニスタン』 クレメンツ/作
『永遠に捨てない服が着たい』 今関信子/作

〈中学校〉

『チャーシューの月』 村中李衣/作
『フェリックスとゼルダ』 グライツマン/著
『ぼくが宇宙人をさがす理由』 鳴沢真也/著

〈高等学校〉

『歌え!多摩川高校合唱部』 本田有明/著
『ジョン万次郎』 プロイス/著
『宇宙へ「出張」してきます』 古川聡/作

図書館通信



◆学校・園の子ども達

- ・中町南小学校1年生(4/17)
- ・中町幼稚園もも組(6/6)
- ・うめ組(6/13)
- ・松井小学校3年生(6/25)

今年度も町内の子ども達が図書館へきて、おはなし会や本の貸出など楽しんで利用してもらっています。

◆子ども読書週間 特別おはなし会

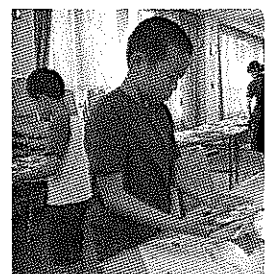
(4/27)

今年は大型絵本の読み聞かせやエプロンシアターを使ったおはなし会を開催しました。



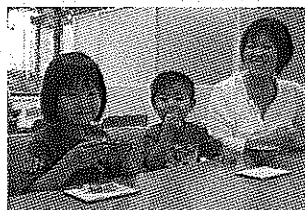
◆うちわづくりに挑戦 冒険ひろば

絵本カバーを使った工作教室。お気に入りのカバーを選んだ、たくさんのお子達がオリジナルのうちわ作りに挑戦しました。



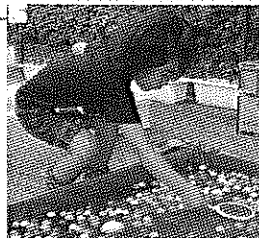
◆お茶席

多可町茶道協会とふるさと文化いきいき教室講座生のお茶席。お抹茶のお味はいかが？



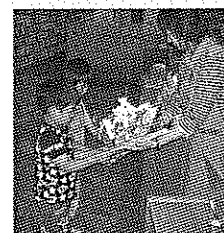
◆ミニ縁日

昨年も大好評だったミニ縁日。ヨーヨーすくいにボールすくい。大きなボールもポールの枠を使って上手にすくいました。

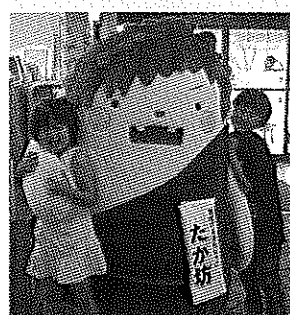


◆ありがとう

6月1日は「善意の日」です。その日にちなんで中町北小学校2年生のみなさんからお手紙と花束をいただきました。



たか坊は子ども達に大人気♪



図書館だよりのロゴを書きました

◆トライやるウィーク(6月5〜9日)
町内の中学生4名が、5日間の日程で図書館の様々な仕事を体験しました。開館準備や回送業務、本のコーティングなどの作業を順次おこなった中学生たち。締めくくりとして、カウンターで本の貸出、返却業務にもチャレンジしました。慣れない作業に緊張と戸惑いを見せながらも、最後まで一生懸命に取り組んでくれました。



◆水無月落語会

図書館まつりで、生涯学習講座「落語」の受講生の皆さんによる落語会を開催しました。出演は、鮎家土瓶(柴田貞美)さん、藤本玲子さん、草寄亭小風(上原敏伸)さん、光家細鶴(近藤文好)さんの4名。上方落語協会の桂九雀さんを師に迎えマンツーマンのレッスンを積んでいるだけあって、どのネタもいきいきとして、情緒ある人々を演じ分ける熱演に会場は笑いの渦に巻き込まれました。落語会に訪れた人からは「古典落語を聞く機会がめったにない。名演に思わず引きこまれ笑って笑って時間が過ぎてしまった」と、称賛の声をいただきました。



◆大人のための朗読会

藤沢周平作品『花のあと』をフリーアナウンサーの西岡志保さんに語っていただきました。臨場感あふれる語りに参加者はぐつと物語の中に引き込まれ、あつという間の1時間半でした。

◆本のリサイクル広場

毎回、大盛況の「本のリサイクル広場」。今年も玄関先には早朝から100人近い来場者の列が出来上がりました。会場は開館と同時に超満員。お目当ての本は見つかったでしょうか？



布絵本展示
お鍋の中身は何かな？



こと葉の言の葉の便利

科学絵本作家は、応用化学科卒！
～ かこさとし 編 ～

子どもの頃は「バッタだとかメダカだとか、自然という大きな本を読んで育ちました。」と語られる絵本作家の加古里子(かこさとし)さんは、今年87歳を迎えられます。

かこさんの代表作『からすのパンやさん』『どろぼうがっこう』は、昭和48年、47歳の時に出版された絵本です。それから40年、親子三代に読み継がれてきた『からすのパンやさん』の続編が、今年の4・5月に発売されました。

「おかしやさん」「やおやさん」「てんぷらやさん」「おそばやさん」の4話の新作には美味しい食材とカラフルなカラス達が登場します。また、小さかったチョコちゃん、リンゴちゃん、レモンちゃん、オモチちゃん4羽もすっかり大きくなって登場しますので、ぜひパンやさんのその後をお楽しみください。

絵本雑誌『MOE』のインタビュー記事の中で「メモだけは山のようにありますが、絵本にな

るのは1000のうち3つくらいでしょうか」と笑顔で答えられるかこさん。『だるまちゃん』シリーズなどの読み聞かせ絵本のほかに、やさしい言葉とイラストで、子どもたちが手にして読める科学の絵本・行事の絵本・あそびの絵本など500冊を超える作品を創作されています。今年の夏は幅広い分野の絵本作家である、かこさとしさんの作品に出会いに多可町図書館へお越しください。



『からすのパンやさん』より
©Satoshi・KAKO

かこさとし さんに関するクイズです。《こたえは最後のページに》

- I. 『からすのパンやさん』の元案となった手作り絵本の贈り先は
①いとこの誕生日祝い ②先輩の結婚式祝い
③めいの成人式祝い ④後輩のパン屋開店祝い
- II. 中学生の時(昭和17年)、父と上野で見て影響を受けた展覧会は
①ダ・ヴィンチ展 ②ゴッホ展 ③モネ展 ④ルノアール展
- III. かこさんが、『からすのパンやさん』等に登場する茶色のカラスに出会った国は
①パキスタン ②ロシア ③スペイン ④トルコ
- IV. 本名は中島哲(さとし)さん。ペンネームの「かこ」の由来は
①温故知新から ②勤務地の加古川市から
③か行の「かきくけこ」から ④鉄腕アトムの歌から

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区靴屋 434-11
TEL 0795(32)5170
FAX 0795(32)5171
<http://www.library.taka.hyogo.jp/>

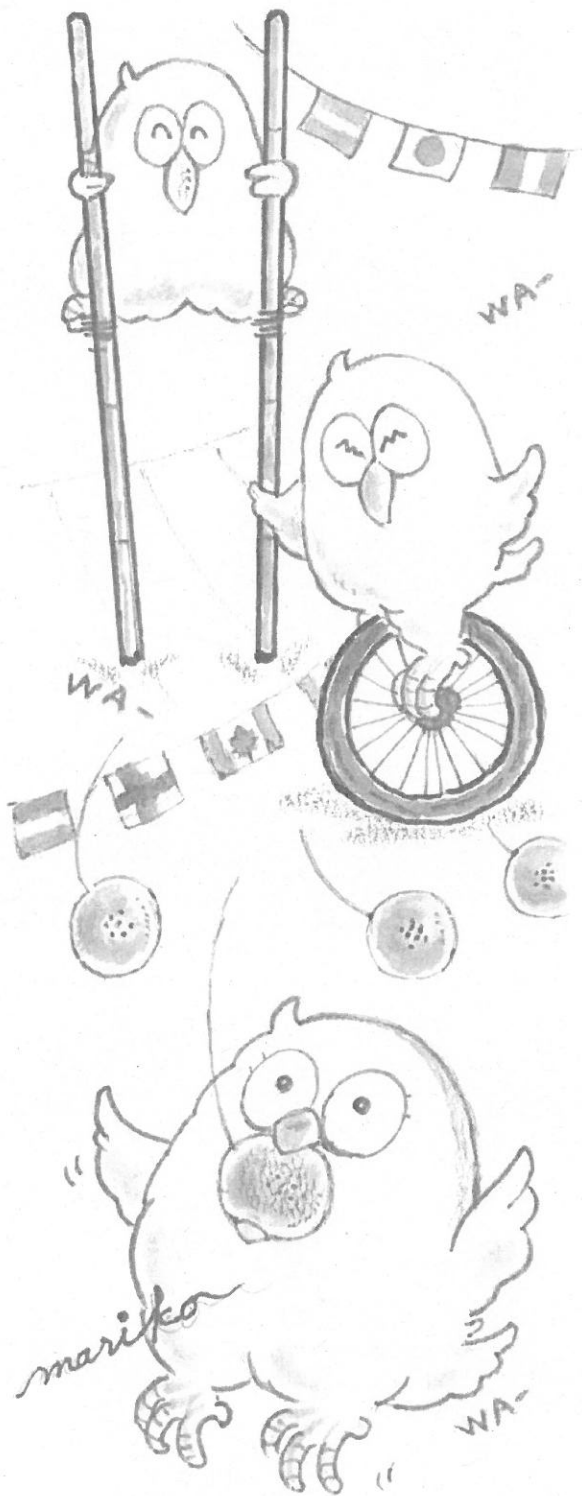
「図書館機能をもつ生涯学習

センター建設に向けて」

図書館協議会委員長 吉田和志

今年度から図書館協議会の委員長をお受けしましたが、とたんに大きな仕事が出てきました。7月からスタートした「多可町生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会」(以下、委員会と略称)に、25名の委員(議会・各団体・公募・子育て世代等)の一人として出ることになったのです。

多可町は、町政推進の指針となる「後期基本計画『多可の道しるべ』」(平成24年3月策定)の中で、生涯学習体制



の構築をうたっており、それに基づいて、町では「図書館機能を併せ持った生涯学習センター」(以下、センター)を建設する予定です。この委員会では、センターの建設基本計画や規模、建設候補地などを町長に提案することを目的としています。

委員会では、7月から9月にかけて、すでに5回の会議と4回の作業部会を開いて活発な議論を行うとともに、先進地を2回視察するなど、精力的に動いています。

9月の視察では、滋賀県の愛荘町(2町合併して人口2万1千人)の愛知川図書館を訪れました。多可町図書館の約4倍の広さのスペースに蔵書は約2倍。多くの町民が利用しており、図書

館長の「町民の皆さんが図書館を支えている」の一言が印象的でした。

現在、当委員会では、①すべての人に優しいセンター、②多様な学習ニーズに対応できる学びの拠点、③つながりの拠点、④発表の場、の4つの基本理念に基づいて具体的に検証・評価しています。この理念のもとに建設されるセンターでは、図書館機能と公民館機能の複合化による相乗効果を生み出すことが求められます。

委員会では、10月末の成案をめざしています。今後、センターの実現に向けてはなお曲折が予想されますが、愛知川図書館長の言葉どおり、町民の皆さんの力強い支援が欠かせません。

Bookガイド

あんな本 こんな本

【一般書】(小説)

『CYBER COMMANDO
サイバー・コマンドー』

福田和代／著
祥伝社 (Fフク)



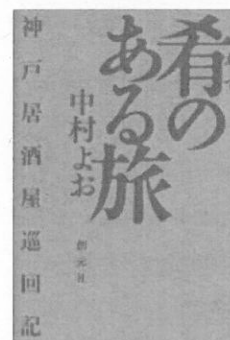
2014年3月、防衛省に官民精鋭のサイバー防衛隊が組織されました。その一員で若き天才ハッカー海斗が、製造業の製品不良に疑問を持ち現地調査に向いた矢先、乗ってきた新幹線が後続列車に激突され、電話も繋がらない状態に陥ります。原因はすべてコンピュータウイルス。

現代社会の危うさ・脆さを実感させられると同時に、サイバー戦争の怖さ、走り出したら止められない状況に背筋が寒くなります。それでもサイバー戦士の清さ、潔さに救われるエンタテインメント作品です。(み)

【一般書】(実用書)

『肴のある旅
神戸居酒屋巡回記』

中村よお／著
創元社
(673ナ)



神戸を中心に大衆居酒屋の名店やバー、そこで出される旨い酒や料理を紹介しているこの本は、長年にわたりシンガーソングライターや雑誌のライターとして関西を拠点に活動してきた著者が、自分の舌と感覚で味わってきた酒場の情感を元に、様々な形態の酒と肴について起稿しています。

単なる隠れた名店のメニュー紹介ではなく、その店に息づく人間模様も織り交ぜての深い居酒屋談義の数々。忘れかけていたあの店に、週末ちょっと寄ってみたいくなる、アテになる本です。(と)

【児童書】

『サリー・ジョーンズの伝説』

ヤコブ・ヴェゲリウス／作
福音館書店
(K949へ)



アフリカの密林で生まれたゴリラの女の子、サリー・ジョーンズが、密猟により捕らえられ、数奇な運命をたどるお話です。

信頼し焦がれていた人からの裏切り、人から人へと売られ見せ物にされる屈辱、ジャングルへの憧れと未来への希望、深い友情、長い長い旅…。そして最後にサリーは故郷を選ぶのか、それとも友を選ぶのか。

サリーの人生(?)を通して、人間のあさましさや狡猾さが描かれ、大人が読んでも考えさせられる一冊です。(な)

多可町図書館10周年記念事業

映画 **じんじん**

「絵本の里」北海道 剣淵町を舞台に人の優しさと親子の絆を描いた映画だよ!

出演:
大地康雄
佐藤B作
中井貴恵
村田雄浩

上映日時:12月23日(月・祝)

①10時~

②13時30分~

場所:ベルディーホール

剣淵町=「絵本の里」

昭和63年、まちの若者たちが「けんぶち絵本の里を創ろう会」を結成し、絵本を題材にまちづくりを始めました。その取り組みのユニークさが、マスコミで取り上げられ、「絵本の里けんぶち」としてその名が全国に広がっていったそうです。

平成16年にオープンした「絵本の館」を絵本の里づくりの活動拠点とし、世界中の絵本、約45,000冊を所蔵。全国への貸出も行っています。ここでは絵本の原画展、読み聞かせなど様々な活動のほか、前年度に全国で出版された絵本から応募されたものを対象に「絵本の里大賞」を決定しています。

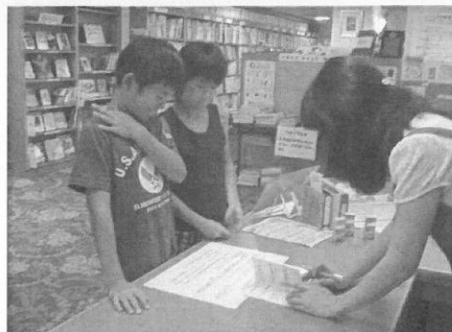
【こたえ】 I...② II...③ III...② IV...② V...②



図書館通信

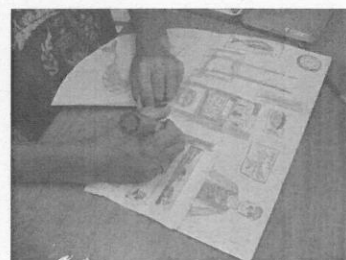
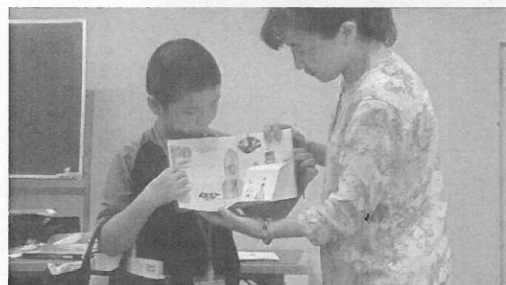
◆スタンプラリー 7/20～8/31

今年も夏休みに入ると同時に、図書館は元氣いっぱいのラリー参加者で賑わいました。今回は教科書に掲載されている「本は友だち」から本を選び出題しました。期間中頃にもなると、ほとんど貸出となり、「本がない」とがっかりする姿も見受けられました。一方、早くから取りかかり、数日で全問（16問）正解した子どもたちも数名ありました。「答えを見つけない」ための読書になりがちですが、全問を自力で読破した子どももたくさんあり、これをきっかけに、次の本と出逢う橋渡しができればと思っています。



◆おうち絵本をつくろう！(8/1～2)

毎年好評を得ている手作り絵本教室ですが、今回は立体の折りたたみ式の絵本（おうち絵本）づくりです。講師は村上祐喜子先生で、先生の指導のもと参加した町内の小学生21名が、こんな家に、こんな部屋に住みたいというイメージを膨らませながら2日がかりの製作をしました。すてきな服や、家具、テーブルが配置された寝室や、お風呂場、リビングなど三つの部屋でひとつの絵本を組み立てていきました。なかには、将来やってみたいケーキ屋さんや、おもちゃ屋、釣具店をオープンさせた子ども達もいました。完成した夢のお家を手に大満足の様子でした。



◆多可高校生就業体験7/31～8/2

今年は男子2名が活動しました。図書の返却や書架の整理など基本的な作業ばかりでしたが、熱心な取り組みで大変助かりました。保存期限が切れた過去の新聞も高校生2人の活躍で無事すっきり片付きました。今回、活動してくれた、森位君、高尾君の今後の高校生活が充実したものになる事を一同願っています。



◆西脇市図書館との連携

7月から、西脇市図書館の本を多可町図書館に、多可町図書館の本を西脇市図書館に返却ができるようになりました。（ただし、加美・八千代の図書室に返却することはできません）

また、当館にない本を他の図書館から借りる場合も、県立図書館を経由すると2週間かかっていましたが、西脇市図書館から借りる場合は最長でも4日あれば届くようになりました。

利用状況
(7・8月)
西脇→多可へ 63冊
多可→西脇へ 123冊



毎週木・日曜
に本を配送

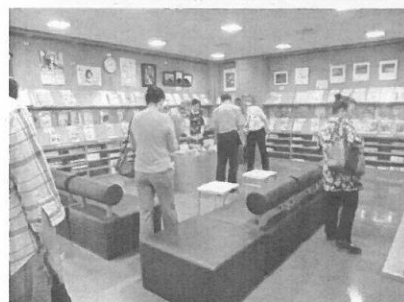


◆管外視察研修(9/7)

生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会・図書館協議会・「サポート・ねっと」のみなさんと共に滋賀県にある愛知川図書館・多賀町立図書館へ視察に行ってきました。

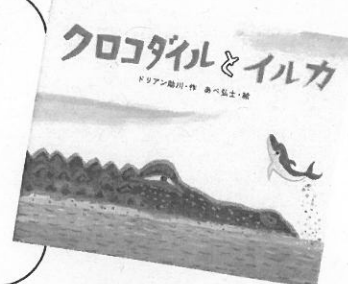
建物内のゆつたりした滞在型の空間はもろろのこと、視察に行つて一番に印象に残った点は「本の見せ方」でした。図書館特有の分類にこだわらない配列。さめ細やかな見出しには脱帽しました。帰館後、手始めにYAコーナーから配架方法を変えてみました。少しでも両館に近づき、利用者のみなさんが使いやすい図書館になればと思っています。

質疑応答の時間ではたくさん質問が出、非常に有意義な視察研修となりました。



「動物にいろんなことを
教えられて、それが肉体となり
精神となっている」

— 「月刊MOE」2012年6月号より —



が登場します。北海道の絵本の里・剣淵町を舞台に、父と娘の絆を取り戻していく物語で、この脚本にほれ込んだあべさんは、題字や劇中使用する小道具の絵、さらに主演の大地さんに絵本指導するなどされたそうです。

今年の秋は、「じんじん」のスクリーンに映し出された絵本を手に、夜長を楽しませてみてはいかがでしょうか。

『あらしのよるに』は、シリーズ化され、あべさんの代表作となっています。

2005年に出版された『まんげつよるに』で完結するガブとメイの友情を描いた話は国語教科書・舞台・テレビアニメ・スクリーンにと、まさに絵本を飛び出して行きます。

また、12月に上映する映画「じんじん」の中にもあべさんの絵本『クロコダイルとイルカ』

ふくちゃんの言の葉 便り 哲学をゴリラに 絵をゾウに学ぶ ～ あべ弘士 編 ～

「私の絵本を見た子どもたちが、動物を好きになってくれたらいいよね」と話すあべ弘士さんは、北海道の旭山動物園に25年間飼育係として勤務されていました。130冊以上におよぶ作品のほとんどに登場するのが、数多くの動物たちというのも頷ける経歴の絵本作家です。

動物園を退職する2年前の1994年に、童話作家の木村裕一さんとの出会いから生まれた

あべ弘士 さんに関するクイズです。《こたえは最後のページに》

- I. 「あらしのよるに」登場するガブはオオカミ、メイは
①アルパカ ②ヤギ ③ヒツジ ④ヤク
- II. あべさんが大好きな動物は
①ライオン ②キリン ③カワウソ ④オオカミ
- III. あべさんが小学1年生から高校3年生まで没頭したのは
①熱帯魚の飼育 ②百人一首 ③野球 ④昆虫採集
- IV. あべさんが描いた、映画「じんじん」のポスターの動物は
①オラウータン ②ゴリラ ③チンパンジー ④ニホンザル
- V. 飼育係時代、あることをやって園長に叱られます。何をしました？
①キリンにマフラーを巻いた ②カワウソと昼寝をした
③ゾウにのって園内を散歩した ④ゴリラにシンバルを持たせた

図書館だより

発行 多可町図書館
〒679-1133
多可郡多可町中区糺屋 434-11
TEL 0795 (32) 5170
FAX 0795 (32) 5171
http://www.library.taka.hyogo.jp/

新年、明けましておめでとうござい
ます。早いもので、図書館も平成16年
の3月に開館してから今年で丸10年
になります。あつという間でした。
図書館の一日は返却本の配架や分室
への回送準備などから始まります。午
前中は小さなお客さまの愛らしい声が
聞こえた図書館も学校が終わった3時
半を過ぎた頃から急ににぎやかに。子
ども達たちの笑顔があふれます。
図書館で働いていて感じるこ、そ
れは子どもの成長の早さです。大人と
一緒になければ図書館に来ることがで
きなかった小さな子どもが、ある日、

自分たちで来るように。そして神社か
ら図書館までの坂道を息を切らしなが
ら自転車ですつとくると、カウンター
でひとしきりおしゃべりしていきます。
その後本を探しに棚へ。そんなことが
数年続いたかと思うと、中学へ上がる
と同時にぱったり見かけなくなります。
でも次に会った時はびっくり！大人び
た様子で図書館を利用していきます。
「ああ大きくなったなあ」と思う反面
「もうあんまり話しかけてくれないの
ね」なんて寂しさも半分です。
図書館見学に来た子どもから「働い
ていてうれしいことはなんですか？」
とよく質問されます。いつもなんて答
えようかと悩みます。利用者の探され
ている本がうまく見つかり、それを手

渡せた時、そしてありがとうと言われ
た時、ああこれぞ図書館員の醍醐味や
なあと感じます。喜んでもらうと「そ
の気」にさせられ、もつといい本はな
いかと探してしまいます。そのため
は、もつと本のことを知り、そして本
と人とを上手に結びつけられるよう
にならなければ…と思っています。
「その気にさせられ、その気になつ
て仕事をする」、これは開館前に行った
研修先の図書館長から何度も伺った話
です。最近つくづく実感しています。
司書として10年、ようやくスタートラ
インに立てたかな？図書館へ行けば何
か楽しいことがある。利用者みなさん
にそう思ってもらえるような図書館
づくりを目指します。

「その気になって」

司書

依藤啓子



Bookガイド

あんな本 こんな本

【一般書】

『ひこばえに咲く』

玉岡かおる／著
PHP研究所
(Fタマ)

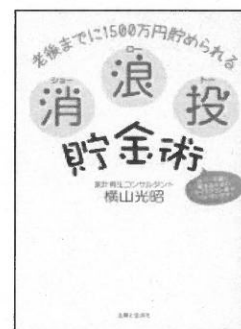


閉店した父の画廊を再開させた香魚子。そんな折、彼女は、あ
る画集で見かけた絵に心を奪われ、りんご畑の納屋に眠っていた
150枚の絵画を世に送り出します。個展が大盛況に終わり、一躍
名を馳せることとなった寡黙な老画家ケン。そして彼を慕う画家
仲間フク。香魚子は彼らの死後もケンの美術館をつくることに力
を尽します。が、やがて二人の秘められた深い歴史を知ること
に…。そしてその深さは、妻子ある男性を忘れられずにいた香魚子
に、自分たちの関係がいかに脆いものであったかを気付かせま
す。生涯ただ描くためだけに描き続けたこの画家の終焉は、ひと
りの女性をまた新たな人生へと送り出します。(な)

【一般書】

『消浪投貯金術』

横山光昭／著
主婦と生活社
(338ヨ)



毎月やりくりが大変で、貯金なんて無理！という方や老後が気
になり出した方、一見の価値あります。消浪投とは、消費・浪費・
投資のこと。支出をこの3つの視点で考えるだけで、意識して使
うようになるそうです。いくら使ったかでなく、どう使ったか、
しかもお金を使う判断基準を自分にとっての価値として、メリハ
リをつけてお金を使うことが勧められています。節約一辺倒でな
く、お金との上手な付き合い方が紹介されています。お金の使い
方を考え直し、消費税アップに負けない家計管理をめざしてはい
かがでしょうか。(み)

【児童書】

『岳ちゃんは
ロボットじゃない』

三輪裕子／作
佼成出版
(K913ミ)



小学校三年生の草平は、担任の先生のとなりに立っている男子
をみて声を上げそうになった。北海道に引っ越した幼なじみの岳
ちゃんが帰ってきたのだ。岳ちゃんは生き物が好きで夏休みの自
由研究「かぶと虫の観察」は学年で賞をもらうほどの出来だった。
かぶと虫の事は全く知らない草平だったが、岳ちゃんに連れられ
ていった秘密の場所で、大きなかぶと虫の幼虫を見つける。岳ち
ゃんのすすめで幼虫をベランダで飼うことに決めた草平だったが、
翌日、思わぬ事で岳ちゃんと絶交することになってしまう。
二人の友情とかぶと虫の幼虫のゆくえは…(と)

あんな本こんな本 part 2
— 10年間をプレイバック —

この10年を振り返り、多可町図書館で人気の高かった本をご紹介します。
現役大学生が芥川賞を受賞し話題になった本や映画化された数々の本、そ
して今年度はなんとといっても百田尚樹さんの本がダントツNo.1でした。
あの時読み逃してしまったという方、この機会にいかがでしょうか。

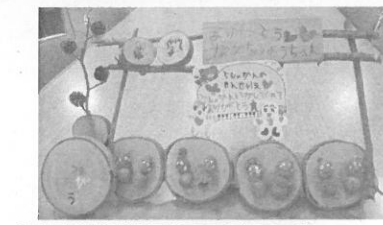
| 年度 | 1 | 2 | 3 |
|-----|---------------------------|-----------------------------|-----------------------|
| H16 | 蹴りたい背中 (綿矢りさ) | 世界の中心で、愛をさけぶ (片山恭一) | 蛇にピアス (金原ひとみ) |
| H17 | いま、会いにゆきます (市川拓司) | 東京タワー (江國香織) | ダ・ヴィンチ・コード (ダン・ブ라운) |
| H18 | 東京タワー (リリー・フランキー) | 佐賀のがばいばあちゃん (島田洋七) | 赤い指 (東野圭吾) |
| H19 | 女性の品格 (坂東眞理子) | 楽園 (宮部みゆき) | 鈍感力 (渡辺淳一) |
| H20 | ハリー・ポッターと死の秘宝 (J.K.ローリング) | 流星の絆 (東野圭吾) | ホームレス中学生 (田村裕) |
| H21 | 1Q84 book 1 (村上春樹) | 告白 (湊かなえ) | 運命の人 (山崎豊子) |
| H22 | カッコーの卵は誰のもの (東野圭吾) | 新参者 (東野圭吾) | 夜行観覧車 (湊かなえ) |
| H23 | 麒麟の翼 (東野圭吾) | 謎解きはディナーのあとで (東川篤哉) | 真夏の方程式 (東野圭吾) |
| H24 | ナミヤ雑貨店の奇蹟 (東野圭吾) | 舟を編む (三浦しをん) | 人生がとぎめく片づけの魔法 (近藤麻理恵) |
| H25 | 海賊とよばれた男 (上) (百田尚樹) | 色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年 (村上春樹) | 空飛ぶ広報室 (有川浩) |

※貸出回数を元にしたデータです。
(H25年度は11月末現在)

【こたえ】 I・・・④ II・・・① III・・・③ IV・・・② V・・・②

図書館通信

◆子ども達が来館♪



10/31に四恩保育所(4歳児)の子ども達が、11/21に中町幼稚園もも組の子ども達が図書館に遊びに来てくれました。「何冊選んでいいの？」と先生にきいて、みんな一斉に絵本コーナーへ。お気に入りの本を見つけていました。お兄ちゃんお姉ちゃんが見た3歳児クラスの子どもが「あんな本、僕も借りたい！」と、後日おうちの人と図書館を訪ねてくれました。

「図書館へ行こか！」

中区 真鍋千恵美



私が図書館に通い始めたのは孫が生まれて上の子が幼稚園に行くようになってからです。孫は二人とも絵本が大好きで「ばあちゃん読んで」といつて何冊も読み聞かせをしていました。ある日、幼稚園で「絵本ボランティアをしませんか」というのをみて「やってみようかな」と始めてもう2年目です。子ども達は目をきらきら輝かせてそばでくいているように聞いてくれます。その笑顔に私も元氣と安らぎをいつももらっています。「今度は何読んでくれるの？」とみんな楽しみにしてくれているので私も図書館に月2・3回行って孫と本を選ぶのが楽しくてうれしくて、時には紙芝居、時には大きな絵本、そして時にはしかけ絵本とあの手この手と考えて選んで読み聞かせをしています。町で出会う「あつ、おばちゃん、また絵本読んでな」と声をかけてくれます。孫同様これからのいろいろな本をみつけて読み聞かせをしていきたいです。さあ！図書館へ行こか！

「私と図書館」

加美区 笹倉綾乃



私は小さい頃から図書館に行っています。絵本コーナーではほとんどの本を読みました。特に好きな本は、『おさるのジョージ』や『ちびうさ』、落語です。今は物語を読んでいます。時々、絵本を読むとほっとします。休みの時ひまにしていると「どっかいく？」とお母さんに聞かれ「図書館！」と言い、笑われたのを覚えています。

四年生の時には、国語の宿題で図書館を調べたいと思い聞いてみると、いいよと返事をもらいました。いつもはカウンターで本の貸し借りの仕事しか知りませんでした。でも、本の紹介を低学年向け、高学年向けなどに分けて作ったり、次に買う本を選んだり大変そうでした。また、奥の部屋に入ると棚にたくさん本があり、びっくりしました。

夏休みの宿題で古い新聞を見たいと言った時も、いやな顔をせず出してきてくれました。そんな身近で便利な図書館が大好きです。

「宝物を見つけに」

八千代区 土田英未

「ほら、(えほんのくに)に行く時間やで」私がこう言うと娘達は図書館に行く支度を始める。

(えほんのくに)とは多可町図書館に設けられている絵本コーナーの事で、どこを見ても絵本だらけのその場所は異世界にいるようで子どもは勿論、大人にとっても魅力的な所だと思ふ。今日はどんな本を読もうかと自分の背丈よりも大きい本棚を笑顔で見上げている。過ごせる時間は僅かだけれど訪れる度に元氣になれる。

私の姉が幼い頃から本が好きで家にはいつも沢山の本があった。いつしか私も自然と本が好きになった。図書館通いも趣味の一つで、あの空間が好きなのでゆっくり物事を考えたい時にお世話になっている。

多可町図書館は

今、私たちにとって一番身近にある図書館なのでよいお付き合いをしていきたい。子ども達の成長と共に出会える本を見つけに通い続けていきたい。



祝・開館10周年

利用者の方からお寄せいただいた図書館に関するエピソードや10周年記念事業に関する内容をご紹介します。3月には斎藤卓治さんを講師に、子どもを対象としたパーパークラフト教室も開催しますのでお楽しみに。

◆映画「じんじん」上映会

(12月23日)

上映会当日は、区長会をはじめ各種団体の皆様のご協力によって沢山の方々に観覧いただきました。絵本を通して親子の絆が織りなす物語としてつくられた俳優さん達の名演技に、鑑賞に訪れた方々のなかにも涙を拭く姿が見られ、映画の題名のとおり心が「じんじん」する上映会となりました。

玉岡かおる講演会 「女を生きる」

—先人の足跡に学ぶ—

- ◆1月26日(日)
- ◆13時30分～
- ◆場所：多可町図書館
- ◆参加費：無料(要申込)

玉岡かおるさんに関するクイズです。《こたえは最後のページに》

- I. デビュー作品に登場する魚は
①ブルーギル ②ピラニア ③アロワナ ④ブラックバス
- II. いなみ野のため池での、〇〇プロジェクトとは
①パール ②ジュンサイ ③白鳥 ④タガメ
- III. 子供の頃、誕生日プレゼントに欲しかったのは
①クレヨン ②リカちゃん人形 ③紙 ④電気鉛筆削り
- IV. 玉岡さんの好きなスポーツチームは
①コベルコスティーラーズ ②阪神タイガース
③INAC神戸レオネッサ ④オリックスバッファローズ
- V. 新刊図書『虹、つどうべし』に登場する女間者・希久を三木城へ送り込んだのは誰？
① 竹中半兵衛 ②黒田官兵衛 ③直江兼続 ④山本勘助

“きっかけ”は、どこにでもある。
感性を磨き“きっかけ”を見つけよう！

—2005年神戸学校リポートより—

ふくちゃんの言の葉 便り

播磨に恋 笑顔の作家

～ 玉岡かおる 編 ～

三木市出身の作家玉岡かおるさんの代表作には、“明治三部作”と称される上下2巻からなる長編作品『天涯の船』『お家さん』『銀のみち一条』があります。出版社の紹介文を見ると、『天涯の船』には〈激動の時代を駆け抜ける大人の純愛ロマン〉、『お家さん』には〈巨大商店の頂点に君臨した伝説の女 感動大河小説！〉、『銀のみち一条』には〈激動の明治、恋と夢に

魂を燃やした名もなき人々の感動の大河ロマン〉とそれぞれの作品が持つ壮大な物語が伝わってきます。この他にも、『負けんとき』や『をんな紋』などの作品があり、長編小説家のイメージのある玉岡さんですが、小説家になる前は、雑誌社に子育てエッセイを投稿して子育てグッズを多数獲得する主婦でした。転機が訪れたのは、1987年に神戸文学賞に輝

いた作品『夢喰い魚のブルー・グッドバイ』を書き上げたのがはじまりでした。神戸・三木市を舞台とした70ページの受賞作が、1989年に新潮社から出版された時には300ページの作品にスケールアップをして、念願の作家デビューを果たしました。播磨を舞台に、また女性を主人公にして時代を映す小説を“年の初めの一冊”に読んでみてはいかがですか。